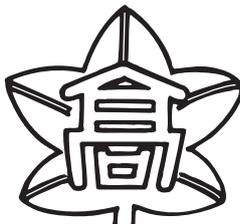


耐久高等学校同窓会報

耐久






文化勲章を受章された
谷口維紹氏による
講演会と座談会

令和6年5月29日(水)

NO. 54



玄関ロビーにて展示

第19回

関東耐久会総会

春のセンバツで母校大健闘の余熱いまだ冷めやらぬ中、5月24日に関東耐久会総会がメトロポリタンホテル池袋で開催されました。

今回の講演は、昨秋文化勲章を受章された谷口維紹先生にお願いしました。野球と科学、この文武両面でのわが同窓の大活躍は大いに会員を鼓舞し、総会参加者は最近ピークの54名に達しました。また濱口道雄会長にも特にご参加いただきました。

講演はご準備いただいたスライドを使いながら、谷口先生の幼少期や高校生活、そのころ抱かれた志や信条、恩師への感謝など同窓生の胸を打つお話。さらにご専門の生命科学から見た人類の未来予想など、とても素晴らしいものでした。またその後のクエッションタイムも懇切にご対応いただきました。先生の飾らないお人柄が参加者を魅了した1時間でありました。

懇親会は一転して、センバツの記憶を思い起こし共感する楽しい時間となりました。同窓会本部から榎野、弓場両副会長にご参加いただき、甲子園の録画を流していただきました。映し

出される応援の情景はさすが全国1位のものだとみんなが誇らしさを共有した次第です。本部から提供してもらった応援グッズ在庫は多くの方に購入いただきました。こうして会員の相互交流はいやが上にも最高潮に達しました。

かくしてセンバツと文化勲章のおかげで関東在住の同窓生が新規に入会してくれたり、また総会に参加してくれたり、当会としても嬉しいことが様々ありました。この先も関東耐久会を大いに盛り上げていきたいと思えます。

関東耐久会副会長
琴野真樹子(高29期)



令和6年度

和歌山耐久会 開催

甲子園開幕約1か月前の2月17日(土)11時30分、和歌山市のホテルグランヴィアにて、和歌山耐久会の総会および記念講演と懇親会を開催し、世代を超えて約130人が集まり大盛会となりました。

開宴前の受付30分間は、服部バンド演奏の「耐久高校校歌・ロックバージョン」のDVDを会場に投影しムードが高まりました。なおバンドリーダーの服部直樹さんはS62年卒で、校歌を作曲した植村康夫先生のお孫さん、またサククス担当の田又

さんは作詞の清水先生の甥っ子さんだそうです。

最初に和歌山耐久会・会長、西博義様から開会の挨拶、続いて総会を行いました。

司会・進行は、副会長の私、川島が担当させて頂きました。

記念講演には2023年文化勲章を受章した東京大学名誉教授、谷口維紹先生を講師にお招きし、先生の研究に纏わるお話以外に、高校時代の先生の話や出身地である旧清水町や祖母のお話、そして「憧れの耐久高校に通えたのは恵まれていた」と母校への誇りと有田愛を感じる講演でした。

懇親会では、選抜甲子園出場を控えた北部信之OB会長、井原正善監督の挨拶と、甲子園出

場の報告および決意表明がありました。

また高21期の池永義子様が構成・作詞・作曲をされた「朗読と歌による生涯劇 梧陵さん」をファミリーコーラス「ほほえみ」による合唱で、さらに懇親会を盛り上げて頂きました。

最後は谷口先生と同級生である副会長の小畑英三様の挨拶で閉会となりました。

今回の甲子園出場により、改めて耐久高校の卒業生であることこの「誇り」「母校愛」「有田愛」を世代を超えた卒業生で共有し、結束に繋がった会になったと感じました。

和歌山耐久会副会長
川島忠弘(高37期)



関西耐久会総会のご案内

1日時：令和6年11月10日(日) 11:00～15:00 受付 10:30開始

①総会 11:00～11:30

②講演会 11:30～12:30

演題：「健康で幸せに生きる方法についての論理的考察」

講師：山田博規/理科第6期(高29期)1977(昭52)年卒

神戸大学医学部卒業 医学博士 労働衛生コンサルタント

③懇親会 12:40～15:00 ～今年も楽しいアトラクションが盛りだくさん！～

「よっしゃ！我こそは!!」という方の飛び入り大歓迎です!!

大好評の故郷の味覚、「なれずし」「金山寺味噌」「しらす」「アジの開き」は今年も販売します。

2場所：KKRホテル大阪 3階(銀河) 大阪市中央区馬場町2-24 TEL 06-6941-1122

3会費：10,000円

4締め切り：令和6年10月15日(火)

5お問い合わせ・申し込み先：

副会長 宮崎裕子(高31期) TEL 080-2434-6893 メール mikannoheta68@docomo.ne.jp

高19期
7・8・9組同窓会
後期高齢者の青春

耐久高校19期7・8・9組の同窓会を6年ぶりに6月8日(土) ホテルグランヴィア和歌山にて開催しました。

宴会前に、同期で大阪大学医学部名誉教授の岡田全司君による講演が約三十分間ありました。「ヒトT細胞ハイブリドーマ、キラーT細胞分化因子の世界で初の発見」というテーマの講演会を真剣に聞きました。

宴会が始まると、いきなりわいわいがやがや、高齢者パワー爆発、名司会上田さんの見事な進行で順調に過ぎていきました。

「バーン」。いきなり大音量で服部バンドの服部直樹君が登場、耐久の「校歌」がロック調で会場いっぱい流れました。今年、創立以来初の甲子園出場を果たし、このロック調の校歌が巷でヒットしたのです。

ゲストの歌も終わり、再び会話や笑い声で会場は大盛り上がり、青春が戻ってきたひとときでした。耐久への想い、仲間への想いを大いに感じる同窓会となりました。

二次会はカラオケに興じる人、一階の喫茶店で談笑する人、その喫茶店で素晴らしい出会いがありました。

そろそろ解散しようとしたとき、見覚えのある人がこちらを向いて歩いてきたのです。一学年先輩で文化勲章を受章された谷口維紹氏です。思いがけなく気さくに会話させて頂き、大変貴重な出会いとなりました。

幹事長
佐々木哲夫



高24期
古希同窓会

令和6年3月30日(土)、昭和47年卒業・第24期生の第5回同窓会をホテルグランヴィア和歌山に於いて開催しました。出席者55名(男性32名、女性23名)、恩師原秀明先生と同松本秀法先生にご臨席を賜り、懐かしく楽しいひとときを過ごしました。

当日は、司会進行役の挨拶から始まり、引き続き幹事長より、「本日、同窓生全員が古希を迎えました。祝満七十歳。皆様おめでとうございました。祝す！」と壇上で小さく玉を割って挨拶が始まると、クラッカーと拍手が会場に鳴り響きました。

恩師先生方からご挨拶を頂戴し、乾杯の後、各テーブルは出席者の朗らかな話し声と笑顔でいっぱいになりました。そもそもこの年齢になると派手な演出やアトラクションよりも美味しい食事と会話に十分な時間をとることが重要、カラオケは二次会にしようという幹事会の狙いどおりになりました。

そして、同窓生(創薬医学教授)が開発した画期的なスーパー健康ドリンク「RB Tonic」の紹介を挟んで、会はビンゴゲームに移り参加者全員が軽い運試しで遊びました。終盤はクラス別記念写真撮影会で大いに盛り上がりました。なぜかこの撮影会は誰もがワイワイと騒がしく毎回一番の人気企画になります。

さて、ここまで進行役の名司会で進めて来た同窓会も最後の校歌斉唱のときとなりました。思えば今回ほど印象深い同窓会は初めてでした。新型コロナウィルスにより全てが止まってしまった3年間(今も終息したわけでない)、同窓会開催はもとより準備の幹事会さえ開けず、その後、物故者名簿に知人の名前を見つけて驚き悲しみました。そんな中で硬式野球部の甲子園初出場は清々しい快挙でした。多くの卒業生や関係者が勇気づけられ歓喜に沸きました。♪学びの庭の名も高し 讃えよ耐久吾等が母校♪ 校歌斉唱は一番で終わる予定でしたが物足りず、誰からともなくフルコーラスの三番までのアンコールが叫ばれて二度も歌われ、閉会の挨拶となりました。

私たちの旅はまだ終わらない。次回またお会いしましょう。

次期幹事長 藤本政彦



高29期
高29期同窓会

令和6年5月5日。耐久高等学校第29期生の同窓会をホテルグランヴィア和歌山において開催しました。8年振りとなる同窓会は、普通科8クラス(男性51名・女性47名)理数科1クラス(男性11名)の109名が集まりました。また、原秀明先生、吉松敏隆先生、安宅川崇先生もご臨席くださいました。

午後1時。出席者112名の写真撮影後、嶋田純佳さん、池田恭子さん2名の司会で始まり、物故者の方々に黙祷を捧げました。黙祷の後、代表幹事の石原徹くんより挨拶。そして原先生のユーモアたっぷりの挨拶で、会場は笑いあり、感激の渦で包まれて行きました。そして今年の春、甲子園出場を果たした硬式野球部OB代表として山本崇くんから挨拶があり、これまたユーモアたっぷりのお話で、会場は笑いに飲み込まれて行つたのでした。

会の後半、次回代表幹事、嶋田典之くんが挨拶し、安宅川先生、吉松先生に挨拶して頂き、3人の先生方に記念品の贈呈をさせて頂きました。そしてクラスごとの写真撮影があり、最後は出席者全員が一つの大きな輪を作り、校歌を歌いました。

原先生の「耐久高校ほど同窓会が多い学校はないですね」の言葉が私の脳裏に残っています。次回同窓会は、今回以上の参加者を目指して、頑張ります。

森 廉始



<p>和歌山耐久会</p> <p>会長 西 博 義</p> <p>7640-8301 和歌山市岩橋 1690-47 Tel 073-475-2677</p>	<p>関西耐久会</p> <p>会長 鈴木祥生</p> <p>副会長 宮崎裕子・西久保雅昭</p> <p>7651-2127 神戸市西区玉津町西河原 210-7 Tel 080-2434-6893(宮崎)</p>	<p>関東耐久会</p> <p>会長 林 紀 男</p> <p>〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-3-12-1002 株式会社 オフィスコ コロ 桜パンケット Tel 03-3359-9520</p>	<p>有田耐久会</p> <p>会長 和 泉 保 廣</p> <p>7643-0004 有田郡湯浅町湯浅 1985 耐久高等学校・同窓会事務局 Tel 0737-62-4148</p>
---	---	---	---

新着任あいさつ



全日制教頭
古谷直輝

今年度より着任いたしました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。年度当初、学校でお会いした多くの方から、「私、卒業生です」と何度も聞くことができました。卒業生の皆様が多方面でご活躍されていることを実感いたしました。また、卒業生の方がよく学校見学に来られ、「いつも耐久高校を応援しています」といった言葉をいただきます。まさに校歌にある「讚えよ耐久 我等が母校」という精神が卒業生の皆様の中に根付いているのではないのでしょうか。

ごあいさつ



定時制教頭
中南典子

4月の人事異動により、本校全日制から定時制教頭に着任しました。全日制では16年間教諭として生徒と関わり、その当時は聞き流していた夕方からのチャイムが今では自分の生活のリズムになりました。環境も立場も大きく変わり戸惑う毎日ですが、一つ一つが勉強だと思いつつ奮闘中です。

定時制課程では、基礎学力の定着を図るため、少人数学級や基礎学習に取り組んでいます。全教員で全生徒を見守り、きめ細かい指導を行っています。そのため全生徒が元気に登校し、前向きに学習に取り組んでいます。また、行事として新入生歓迎会や調理実習等を行っています。これらは学年の枠を超え、一致団結することや共同的な姿勢を育成することを目標にしています。さらに、人権講演会や進路講演会等で外部の講師の方から今後の人生や将来についてお話をさせていただき、自立した生活ができるよう、教育活動を展開しています。

高校生活は社会に出る前の貴重な3年間です。その短い期間で生徒に様々な体験をさせ、生徒が心身共に成長できるようにサポート体制を整えていきたいと考えています。最後になりましたが、同窓会の皆様方には今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

令和6年度
全国大会出場クラブ
激励金贈呈

令和6年7月2日(火)

全国大会に出場するバドミントン部とマンドリン部の各代表に、大西同窓会長と戸川校長より、激励金とともに健闘を祈念するエールが送られた。

バドミントン部の松下真依女子主将・信定樹輝男子主将とマンドリン部の安本祐人部長が、大会に臨むそれぞれの決意を力強く述べた。

★バドミントン部

男子団体／男子シングルス／男子ダブルス／女子団体／女子シングルス／女子ダブルス

全国高等学校総合体育大会(佐賀県佐賀市) 出場

★マンドリン部

全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール(大阪府吹田市) 出場



同窓会活動報告

2024 (R6) 年

- 2. 17 和歌山耐久会総会 (ホテルグランヴィア和歌山)
- 4. 5 硬式野球部特別後援会 (本校)
- 22 本部同窓会・有田耐久会合同役員会 (本校)
- 5. 26 関東耐久会総会 (ホテルメトロポリタン池袋)
- 29 谷口維紹先生文化勲章受章記念講演 (本校)
- 6. 20 硬式野球部特別後援会 (本校)
- 7. 2 全国大会出場クラブ激励金贈呈 (本校)
- 5 会報委員会 (本校)
- 7 県高校同窓会連絡協議会総会 (ホテル和歌山みなべリゾート)
- 14 甲子園出場記念碑除幕式
- 8. 21 会報委員会 (本校)



橘 爪 正文 (高39期)
Wedding Hall
TACHIBANA

ご予約は
TEL 0737-88-7005
FAX 0737-88-7775
URL <http://www.tatibanaya.jp>

〒649-0434 有田市宮原町新町17

小畑産業株式会社

取締役会長 小畑 英三 (高18期)

〒640-8033 和歌山市本町3丁目18番地
TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505
ei-kobata@kbts.jp

心の健康相談・更年期の健康相談
じん にん
神人クリニック

院長 神人 勉 (高18期)

〒732-0053 広島市東区若草町18-46
TEL 082-261-0600

高34期
10年越しの同窓会

令和6年5月4日(土)、有田市の橘家におきまして、昭和57年卒(高34期)の同窓会を10年ぶりに開催いたしました。当初、東京オリンピックの年に開催したいと準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症が発生し、オリンピックと同様に延期せざるを得なくなりまして。それでも、オリンピックに合わせて開催しようと試みましたが、感染症の蔓延が終息することなく、結局、高校卒業後30年強ぶりの再会となった前回の同窓会から10年経過しての開催となりました。

今年、開校以来初となる春の甲子園(選抜高校野球大会)に母校の硬式野球部が出場されたすばらしい年であり、同窓会でもその話題で大いに盛り上がることができました。

さて、今回の同窓会には、120名余の同窓生に参加いただくとともに、6名の恩師にもご臨席を賜りました。還暦を迎え、残念ながら彼岸に旅立った同窓生もいましたが、年を重ねても変わらない姿(皆が同じように年齢を重ねているため誤認しているだけだと思いますが)の旧友との談話に楽しい一時を過ごすことができました。ただ、



話が尽きない状況で終宴の時間を迎え、同窓会がお開きとなりましたので、次回、担当いただく幹事の皆様には、早々の開催を切にお願いいたします。また、今回、参加が叶わなかった同窓生の皆様にも次回是非参加いただき、より多くの皆様で同窓会が賑わうことを楽しみにしています。

結びに、今回、同窓会の開催時期に当たり、新型コロナウイルス感染症という突発的な障害により幹事が右往左往し、同窓生並びに恩師の皆様、会場をお借りした橘家さんをはじめ関係者の皆様に数年にわたりご迷惑をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。そして、今回、皆様のご協力により同窓会を無事開催することができましたことを、改めてお礼申し上げます。ありがとうございます。

幹事代表 宮井一行

高40期
五年越しの同窓会

「やつと会えたね!!」そこには、マスクなしの第40期生の同級生の笑顔があった。

令和2年、恒例の50歳同窓会を計画し、葉書も送り、後は本番を迎える……そんな時突然のコロナ流行で、急遽延期することになった。それから5年の月日が流れ、コロナも五類になり、同級生の待ち焦がれる声に、代表の奥村裕君はじめ同窓会委員の18名の方達が、再度同窓会を計画してくれた。

令和6年6月8日、ホテルグランヴィア和歌山で恩師6名、同級生120名が参加、5年越しの同窓会が開催された。遠く、イギリス、アメリカからこの日の為に帰国し参加してくれた友もいた。同窓会委員の方達は、みんなを楽しませようと、フォークダンス、大抽選会……と盛りだくさんの内容を考えてくれた。抽選会の景品は、同窓会委員の方達の寄贈や自社の商品を格安で提供してくれたり、心がこもっていた。中には某有名高級ブランドスーツ仕立券も寄贈してくれていた。会場ではクラス別に集まり、恩師を囲んで昔話を花を咲かせたり、写真を撮ったり、あちらこちらで懐かしい笑顔の輪が広がっていた。

最後に、甲子園センバツ出場記念の耐久カラーのTシャツを身に付けた友が壇上に上がり、



再会した友、恩師、そして誇りある我が母校耐久高校に心よりエールを送り、校歌に合わせ演舞し、全員で大合唱をした。「耐久高校でよかった!!この学年でよかった!!」

すばらしい時間が流れた同窓会は、名残惜しく、幕を閉じた。再会を約束して……!!

幹事 山口有香

同窓会のご宿泊・ご宴会は有田川温泉へ!!

有田川温泉
魚茶屋

有田市国道42号線沿 Tel 0737-88-5151

田辺法律事務所
弁護士 田辺善彦 (高14期)

〒640-8144 和歌山市四番丁26番地の2
TEL 073-431-2801
FAX 073-433-2299

「おいしさの仕上げは、やさしさのトッピング」
カフェ&ベーカリー **オリーフ**

有田川町熊井759-1
TEL 0737-52-8565
営業時間/9:00~17:00 (カフェ/9:00~16:30)
定休日/日・月・祝
HP <http://www.wasaren.org/olive/>

金山寺みそ 醸造元
◎ **垣内みそ**

垣内欣久 (高15期)

本店 湯浅町別所 342-1
TEL (0737) 63-5855
和歌山店 和歌山市里 45-1
TEL (073) 462-7003

高41期

4年越しの夢叶う！
35年ぶりの再会

2024年5月4日みどりの日、有田市の鮎茶屋で同窓会を行いました。私たち高41期は、1970年から71年生まれ。子どもの頃から「万博の時に生まれた子やな」と言われながら育ち、そして高校卒業を目前に昭和から平成へ。振り返れば何かと人生の節目には大きな出来事がありました。そして2020年、50歳という節目の年を迎えた年も然り。コロナにより世界が一変し忘れ難い年になりました。そんな中、同窓会委員有志らが電話やLINEを通じて集まり、2021年1月5日(火)にLINEグループを作りました。すると1月末には早くも100人越え、その後もグループの輪が広がっていきました。

そして迎えた当日は申し分ない青空。今から始まる同窓会に気持ちも昂りました。142名が揃うと6組の梶原紅実先生、7組の三木明美先生、数添泰弘先生、9組の小林英世先生と共に開会を前に記念写真。撮影後、クラス別に着席し、待ちに待った同窓会が始まりました。司会は栗田佳樹くんが務め、代表幹事の萬谷倫也くんの開会の挨拶からスタート。本来50歳で開催すべきところを今になってしまった経緯、大勢の人が出席してくれたことへの感謝、この春、耐久高校が甲子園に出場し、同窓会開催への機運も高まったことなど話しました。次にご逝去された恩師及び同級生への追悼を行い、そして出席恩師の紹介、記念品の贈呈、恩師挨拶、幹事団紹介と続きました。

乾杯のご発声は数添先生にお願いしました。「今年、春に耐久高校が1852(嘉永5)年の創立以来の甲子園出場という記念の年にもなりました」と数添先生。2024年は私たちにとても記憶に残るメモリアルイヤーになりました。歓談中も顔と名札を指差しながら「変わらないね」「○○(当時の呼び名)や！」などとそこかしこで声が聞こえ、会場にいる誰もが笑顔で語り合い和

やかな雰囲気になりました。余興では、幹事の井上智雄くん、南村牧さん、花田由起子さんが進行し〇×クイズで楽しみました。続いて全員で校歌を斉唱。代表幹事の丸畑博久くんの閉会の挨拶へと進みました。「堅苦しい挨拶したら承知せんぞ」と浦義展くんからの一声に、3日間悩み抜いて考えていた挨拶文を破棄し思いのままに自身の言葉で語り始めました。

幹事の集まりにおいても、いつ開催できるかわからない同窓会の打ち合わせを今しないといけないのかという声もあった、迷いながらの決断だったと当時のことを話しました。また、今日は終始胸いっぱい食事も喉を通らなかつたなどユーモアも交えて話し、最後に参加してくれた皆さんへの感謝の言葉へと変わったとたん嬉し涙が溢れ出しました。

そしてその様子を幹事らも同じ気持ちで見守りました。延期により、その間に失われた命もあり無念さも感じながら、35年ぶりの再会で途切れていた糸が結ばれたこと、リアルに対面できたことに喜びを感じ同窓会は無事お開きを迎えました。

閉会后、LINEグループのメンバーは200人を超え、今もなお増え続けています。幹事 白子千晶



第24回有田耐久会・第52回耐久会ゴルフコンペ

第24回有田耐久会(第52回耐久会)ゴルフコンペが令和6年3月14日(木)に有田リソルゴルフクラブで開催されました。

少し肌寒い中でしたが、初参加の方も増え10組40名の方々に楽しくラウンド致しました。優勝は菊屋和訓さん(高14期)でベストグロス賞は79のスコアで森口郁夫さん(高22期)でした。その他各賞を受賞された方々おめでとうございます。

ドライブングコンテストもご年配の方が受賞されるほど、お元気な方が多いです。我こそは飛ばし屋と思う若い方の参加もお待ちしております。

ゴルフではいろいろな方との出会いがあり、意外な人と繋がったり分かったりして、人と人との輪が広がるのもゴルフの楽しみでもあると思います。

金森 隆浩(高43期)



SHIMODE DENTAL CLINIC
医療法人 わかしお会
下出 優 (高・理数2期・S48卒)
下出 輝 (高54期)
広川町広292-1
TEL (0737) 63-6482

ペットと泊まるログハウスの宿
パートナーズハウス ゆあぞ
横山 享 (高14期)
湯浅町山田山・TEL・FAX 0737-65-3411
URL:http://www.partnershouse.jp

総合ビルメンテナンス・特定人材派遣
(株)ウイ・キャンコーポレーション
取締役会長 岡 伸彦(高14期)
代表取締役 岡 勇作(高19期)
〒535-0002 大阪市旭区大宮4-15-9
TEL 06-6954-0346
FAX 06-6954-0577

各種印刷・紙器・果実包装紙
辻本印刷所
〒649-0303 和歌山県有田市新堂208-1
TEL (0737) 82-4444・82-5400
FAX (0737) 83-6006

同窓の情報交換のスペースとして会報を活かしましょう。

絆

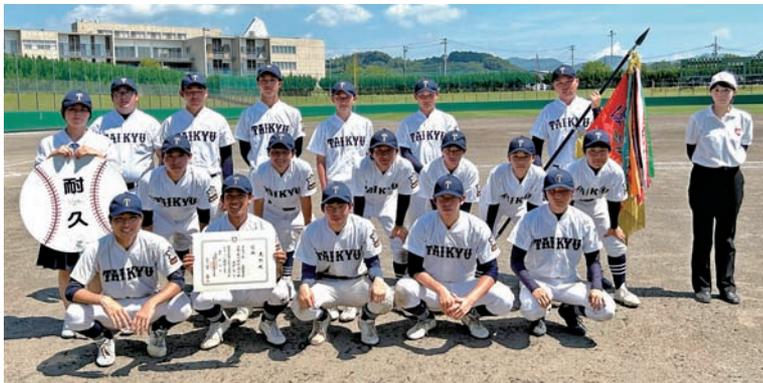
軟式野球部の巻

部活OB・OGたちの

軟式野球部は3年生6人(うちマネージャー1人)、2年生6人、1年生6人の計18人で活動しています。

今年度の春季県大会では16年ぶりに優勝し、近畿大会に進むことができました。近畿大会では、1回戦で大阪府代表の浪速高校を相手に勝利することができましたが、準決勝で滋賀県代表の比叡山高校に敗れてしまいました。昨秋

の近畿大会の初戦はあと一歩というところで敗れてしまったため、今回の1勝はとても嬉しく、チームとしての成長を感じることができました。しかし、私たちの目標はあくまで「全国大会出場」です。この結果に満足せず、これまで以上に近畿大会のレベルを意識しながら日々の練習に励んでいます。



への出場権をかけて戦う近畿大会に出場します。この記事が掲載される頃にはきっと全国大会も終わっているでしょうが、3年生の最後の大会を良い結果で締めくくられるように、そして日頃から応援してください。いる方々に良い報告ができるように大会までの残りの期間も部員全員で努力していきます。

顧問 佐々木智礼

絆

俳壇・歌壇

- ・甲子園夢よふたたび雲の峰
地引民子(高17期)
- ・偏差値の気になる頃や蝉時雨
小畑英三(高18期)
- ・つゆ晴間しのめなびく：一勝め
はためく校旗に夢をめざせり
楠本弘子(高女28期)
- ・穫り入れの新米食し悦に入る
山口純予(高22期)

センバツ2024耐久高校甲子園初出場。私も応援に行きました。バスを降り、冷たい雨の中、長い行列で球場に向かいます。途中、雨が強まりさらに風もきつくなって、これは大変だと思った時、列の誰かが「これぞ耐久！」と叫んで、皆がうなずき応援団の仲間意識が高まりました。超満員のアルプススタンドに座ると天気は嘘のような青空に。1回表、1番堀端君が左翼線に2塁打。この時点で応援の声や手拍子がいきなり最高潮になりました。その後は、スイングのたびに、ストライクが入るごとに地響きのような大歓声が選手みんなに送られました。記念冊子のインタビュー記事で主将赤山君が「アルプス席から大声援が聞こえ、本当に背中を押してもらっている感覚」と語り、井原監督は「甲子園出場で、子どもからお年寄りまで多くの人が喜び、楽しみ、活気づいてくれた」と語られています。その通り。チームと応援団の一体感が最高でした。街全体が元気をもらいました。夢のような時間をありがとう。

読えよ耐久吾等が母校！

『編集後記』

暑い暑い。今年の夏は、気象庁発足以来最も暑いらしい。35度以上の猛暑日も珍しくなく、危険な暑さという用語もでてきました。そろそろ勘弁して欲しいものです。選抜出場は卒業生や地域の方々との結束をさらに固め、多額の寄付が寄せられ、バス57台・三千人がアルプス席を埋め尽くしました。一回戦で敗退しましたが、応援団最優秀賞を頂きました。あちこちで「連れて行って欲くてありがとう」の声を聴きます。

長いコロナ禍を脱却し、中止・延期していた各期の同窓会が開催されました。19・24・29・34・40・41期から報告がありました。4・5年越しの開催で熱気にあふれています。

関東耐久会、和歌山耐久会の総会では文化勲章受章の谷口維紹氏の講演があり、選抜と相まって文武両道の活躍はおおいに会員を鼓舞しました。

絆の欄は近畿大会出場の軟式野球部です。なお、バドミントン部・マンドリン部は全国大会に出場しました。

